

重点事業調書

[担当部局・課名：土木部都市局都市計画課]

3次	基本戦略名称等	基本Ⅳ 豊かで潤いのある暮らしづくり												
夢プラン	戦略プログラム名等	文化・スポーツ・学びを楽しむ暮らし創造プログラム												
	メッセージ・基本施策名	文化財の保存・活用												
重点事業等の名称		岡山後楽園魅力向上事業												
終期設定：平成26年度		予算区分	一般	事項名	岡山後楽園魅力向上事業費									
現状・課題	<p>〈現状・課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡山後楽園の入園者の減少傾向に歯止めがかからない。 特別名勝岡山後楽園の歴史的、文化的な遺構が十分活用されていない。 													
事業内容・進め方	<p>〈事業内容〉</p> <p>1. にぎわい創出事業【7,839千円】 後楽園の活用方策等を検討し、魅力づくり事業の検討・提言を行うことを目的に県が設置した「後楽園魅力向上委員会」からの中間提言を受け、にぎわい創出事業を実施</p> <p>(1) 後楽園・岡山城連携プロモーション事業（新規：1,380千円：産業労働部と連携） ・県、岡山市等連携会議の開催や共通のパンフレット、ポスターを作成し、広報宣伝活動を実施</p> <p>(2) 後楽園キャンパスメンバーズ制度導入事業（新規） ・大学等の年会費負担で、学生証の提示で入場できる制度の導入</p> <p>(3) 岡山後楽園の夜間独占使用を活用した誘客対策事業（継続：産業労働部と連携） ・全国的、国際的規模の会議等のレセプション会場として「鶴鳴館」の夜間利用を促進するため、観光部局及び岡山市等と連携してPRを展開</p> <p>(4) タンチョウの飼育員後継者育成事業（継続H24～H26：6,459千円） ・初春祭などでのタンチョウのお庭散策（飛翔）を継続するための飼育員養成</p> <p>2. 特別名勝の保存整備事業【50,000千円】（継続H23～H26：50,000千円） 発掘調査により確認された御舟入跡の復元・整備や延養亭等の保全・改修</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>〈進め方〉</p> <p>1. にぎわい創出事業 ・県市連携会議の開催（4月～）、共通のパンフレット、ポスターの作成（4月～）、広報宣伝活動の実施（7月～） ・県内の大学等へのPR活動（4月～） ・観光部局、岡山市等と連携したPR活動（4月～） ・タンチョウの飼育員後継者育成事業（H24～H26）</p> <p>2. 特別名勝の保存整備事業 ・御舟入跡の復元・整備や延養亭等の保全・改修（4月～）</p>													
事業の意図・費用対効果等	<p>〈事業の意図・費用対効果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡山後楽園を本県の観光振興や情報発信に効果的に活用することで、国内外からの来園者の増加につなげるとともに、県内各観光地への波及効果や観光岡山のブランド化を図る。 <p>〈設定目標〉 (数値等)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">後楽園の入園者数</td> <td style="text-align: center;">現状(H23)</td> <td style="text-align: center;">平成25年度</td> <td style="text-align: center;">平成28年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">664,503</td> <td style="text-align: center;">705,000</td> <td style="text-align: center;">750,000</td> </tr> </table> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>〈コスト抑制のための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 後楽園・岡山城連携プロモーション事業：岡山市1/2負担。岡山市との連携により、広報活動を実施。 						後楽園の入園者数	現状(H23)	平成25年度	平成28年度		664,503	705,000	750,000
後楽園の入園者数	現状(H23)	平成25年度	平成28年度											
	664,503	705,000	750,000											
事業費の見積もり	区分	H24予算額	H25予算要求額	H26見込額	H27見込額	H28以降見込額								
	事業費(単位:千円)	56,459	57,839	56,459										
	財源内訳													
	一般財源	31,459	32,839	31,459										
	起債													
	その他特定財源	25,000	25,000	25,000										

にぎわい創出事業

後樂園魅力向上委員会からの提言「岡山後樂園の課題について」に向けた中間報告への対応

後樂園の入園者数が長期的にみると大幅に減少している。

昭和47年度	209万人（新幹線開通）
昭和63年度	150万人（瀬戸大橋開通）
平成23年度	66万人（ここ10年程度ほぼ横ばい）
平成24年度	約60万人程度の見込み
平成25年度目標	70万5千人

課題

①

危機意識をもって戦略的に観光施策に取り組むこと

● 後樂園・岡山城連携プロモーション事業【1,380千円】←岡山県と岡山市の定期的な連絡会議の開催

・ 後樂園と岡山城との連携をより一層強化するため、後樂園と岡山城共通の観光パンフレット、ポスターを作成し、産業労働部が行う観光プロモーションを県市連携して行う。

● 岡山後樂園の夜間独占使用を活用した誘客対策

・ 全国的又は国際的な規模の会議等のレセプション会場として、後樂園の夜間独占使用について、観光部局及び岡山市と連携してPRすることにより、後樂園の魅力为全国に向けて情報発信し、誘客につなげる。

②

後樂園は観光客の滞在時間が短く、収益構造が弱い

● 後樂園・岡山城連携プロモーション事業【1,380千円】←岡山県と岡山市の定期的な連絡会議の開催（再掲）

③

後樂園周辺エリアや施設とのコミュニケーションが不足している

● 後樂園・岡山城連携プロモーション事業【1,380千円】←岡山県と岡山市の定期的な連絡会議の開催（再掲）

④

県民にとって後樂園が日常的に親しめる場所となっていない

● 後樂園キャンパスメンバーズ制度の導入

・ 大学短大生の来園機会を増やすために、大学短大の年会費負担により、学生証の提示で無料入場できる後樂園キャンパスメンバーズ制度を導入する。

⑤

子どもたちの郷土愛が希薄



来園者の増加・県内各観光地への波及効果・観光岡山のブランド化

岡山後樂園魅力向上事業について

事業名	H24	H25
・タンチョウの飼育員後継者育成	● → ○	○
・特別名勝の保存整備（H23～H26）	○ → ○	○
・後樂園・岡山城連携プロモーション事業		●

注)

●新規事業
○継続事業